

RFMF30周年記念・交流プログラム（2014年11月6日～19日）

喜んで奉仕し、変化を起こそう！

Serve cheerfully and make a difference (*1)

レア・ジョイ・D・フローラ

Rhea Joy D. Flora



栃木県のアジア学院
にて研修生と共に。
(11月11日)

レア・ジョイ・フローラ(1998年度奨学生、中央)はフィリピン中央部のギマラス島ブエナビスタ自治体の農業技師。持続可能な有機農業生産を通して、健康的なライフスタイルと環境保護・保全の推進、そして貧困緩和に貢献する農学者を目指しています。昨年11月、基金30周年記念行事のゲストとして来日し、牧場やアジア学院での研修、学校及び支援団体を訪問し約1000名の青年に感謝の講演会を行うなどのプログラムを実施しました。

日立教会・11月16日礼拝スピーチ（抜粋）

…有機農業システムの継続的な推進を通じて、私たちの努力が非常に有効であったことに気がつきました。有機運動に参加している農家がますます増え私たちは有機農業の賛同者や実施者による「ブエナビスタ有機栽培者協会」を組織しました。この協会は、今、私たちの農業事務所が技術的に支援している約30人の農家で構成されています。私は農園の運営計画と予算立案、および生産システムの面で彼らを支援している一人です。

有機農業の継続的な推進運動とともに、私たちが行っている有機生産の重要性についての地域社会の教育啓蒙努力は、困難な仕事ではありますが、やがて実を結ぶと私は信じています。将来のフィリピンにおける有機農業や有機食品の消費の制度化、食糧生産の自給自足化を楽しみにしています。そして研究開発を通じて地域密着型の有機管理が発展し、有機農業が地域全体に広まることを期待し

ています。

…皆さまのフィリピンでの奨学金プログラムを継続することは、フィリピンの貧しくとも志ある子どもたちへの希望と力と導きを与えてくれるでしょう。箴言19章17節には、「弱者を憐れむ人は主に貸す人。その行いは必ず報いられる。」と書いてあります。ですから、**喜んで奉仕し、共に変化を起こそう**ではありませんか。

るつ記さんを通して、るつ記記念基金が私たちの夢実現の希望を甦らせてくれた時、私たちはとても幸せでした。その気持ちは私たちの心にずっと残っています。そして、皆さまが私たちの人生の旅に伴ってくださるので、私たちはこれからの人生でもその思いを大切にゆきまします。皆さまの優しさを次に受け取る人たちも、私たちが経験したのと同じ幸せを感じることでしょ。…

(*1) : レア・ジョイ・フローラ本人が設定した今回の交流プログラムテーマ。